

式辞

日ごとに濃さを増していく木々の緑を背景に、暖かい春の風が吹き抜けていく今日の佳き日に、ご来賓として、

P T A副会長 吹上 理恵 様、

同窓会副会長 小渕 一明 様、

をはじめとする皆様方、ならびに保護者の皆様にご臨席をいただく中で、群馬県立前橋南高等学校第50回入学式を挙行できますことを、大変嬉しく思いますとともに、本校を代表し、心から御礼申し上げます。

ただ今、本校への入学を許可した201名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心から歓迎します。また、保護者の皆様、本日はご子息・ご息女のご入学、誠におめでとうございます。これまでのご苦勞に敬意を表しますとともに、改めてお祝いを申し上げます。

本校は、昭和五十一年に、地域の方々からの大きな期待を背負って、初めての入学生を迎え、今年で五十周年となります。本校の校訓は「独立自尊」（どくりつじそん）「進取果敢」（しんしゅかかん）「下学上達」（かがくじょうたつ）であり、新入生の皆さんが、自他の尊厳を守り、自分の責任のもとに行動する高い判断力、みずから進んで積極的に事をなす、強い決断力、基本から学び始めて学問の奥義にまで到る勤勉さ、を持った自立した一人の人間として成長できますよう、教職員一同心から応援いたします。

さて、新入生の皆さん、入学式にあたり、皆さんに二つのことをお伝えしたいと思います。

一つ目は「認め合い、高め合える集団を作ってほしい」ということです。高校は広い範囲から多くの生徒が集まります。当然、育ってきた地域や環境は異なり、それぞれの生徒が異なる考え、価値観を持っています。皆さんには、自分とは異なる方向の興味、関心、価値観を持ち頑張っている人を尊敬するという意識を持って欲しいと思います。これができる人は、たくさんの人から刺激を受けることができます。たくさん刺激を受けることができた人は、自分自身を高め、そして、それはまた、別の人へ刺激を与えることとなります。他者を尊敬できる人は、自分をそして、他者を高めることができるということになります。これが「認め合い、高め合える集団」です。この、前橋南高校の新入

生の皆さんが、認め合い、高め合うことができる集団になることを望みます。

二つ目は「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す人」を目指して欲しいということです。本校は令和5年度よりSAH（Student Agency Highschool）の指定校として、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を目指した教育活動を実施しています。これは、変化の激しい社会で活躍するために必要とされる非認知能力を身につけるための教育活動の一つです。今まで、たくさんの生徒が主体的な活動に挑戦し、いくつかの事を実現してきました。例えば生徒自身による「アイスクリームの自動販売機の設置」や「文化祭向け、公式インスタグラムの開設」などです。皆さんにも是非、主体的な活動に挑戦してほしいと思います。ただ、このような新しいことを実現することだけがSAHの本質ではありません。日常の学校生活の中で、色々なことを自分事として捉え、主体的に関わろうとする姿勢こそが大切なことだと考えます。Agencyとは、「生まれながらに持っている自分と社会をより良くしようとする原動力」のことですが、皆さんにはこのAgencyを発揮して、主体的に学校生活を送ってほしいと思います。

保護者の皆様、お子様の御入学おめでとうございます。高校の三年間は、人生の方向を決定する大事な時期であり、悩み苦しみの大きい時期でもあります。お子様達が可能性を広げ、たくましく成長するためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たし、連携していくことが重要です。私たち教職員は、お子様の成長を願い、一生懸命に考え、支え、励まし、応援します。保護者の皆様も、どうか、学校の方針を御理解いただき、御支援と御協力をたまわりたいと存じます。

結びになりますが、新入生一人ひとりの高校生活が、希望と感動に満ちた、有意義なものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和七年四月八日

群馬県立前橋南高等学校 校長 原 拓史